

第7回 日本緩和医療学会 北海道支部学術大会 プログラム

日にち：2025年8月30日(土)

場所：函館アリーナ (函館市湯川町 1-32-2)

第1会場 (サブアリーナ)

9:50～10:00 開会式

開会宣言 山崎 裕 大会長 (市立函館病院 緩和ケア科)

開会のご挨拶 大泉 潤 函館市長

10:00～10:50 パネルディスカッション「スピリチュアルケア再考 ～それは特別なことではなく医療の原点～」

パネリスト

山口 重樹 (獨協医科大学 麻酔科)

「ケミカルコーピングとスティグマ」

清水 研 (がん研有明病院 精神腫瘍科)

「スピリチュアルペイン ～外傷後成長モデルをもとにケアの方法をひも解く～」

内海 明美 (市立釧路総合病院 がん看護専門看護師/緩和ケア認定看護師)

「スピリチュアルケアの実践について」

—患者の『死にたくない』メッセージに触れ、どのようにケアを提供していくか—

座長 武村 尊生 (東北福祉大学 総合福祉学部 福祉心理学科)

11:00～11:50 シンポジウム I 「道南における緩和ケアの担い手たち」

シンポジスト

川口 篤也 (函館稜北病院理事長)

「道南における緩和ケアの地域連携事情」

早津 栄一 (森病院 緩和ケア病棟医師)

「地域医療における緩和ケア病棟の役割」

大石 由紀子 (函館五稜郭病院地域連携・PMF センター 社会福祉士)

「終末期の患者・家族に寄り添い、意思決定を支える」

横倉 基 (おうちクリニック院長)

「施設での重症心不全患者のお看取り」

二本柳 美夏 (訪問看護ステーションエクラ所長)

「医療過疎地における在宅療養の支援」

保脇 雄介 (松前町立松前病院副院長)

「緩和ケア資源に乏しい地域での看取り支援と連携」

石村 正徳 (障害者支援施設侑愛荘施設長)

「障がい者のエンド・オブ・ライフへの対応について～侑愛荘の支援から」

松岡 智広 (特別養護老人ホーム百楽園 緩和ケア認定看護師)

「介護施設における緩和ケアへの挑戦～生活支援の場で看取るということ～」

座長 福德 雅章 (函館おしま病院)

- 12:00～12:50 共催セミナー(ランチョンセミナー) 共催：第一三共株式会社
「腫瘍内科医の緩和ケア ～ケアとキュアの考え方～」
演者 佐藤 温 (弘前大学 腫瘍内科)
座長 西本 武史 (函館五稜郭病院)
- 13:00～14:20 シンポジウムⅡ「緩和ケアに 今 何が望まれているのか
～それぞれの地域で医療者が届けることができるものと、患者・家族らが期待しているもの～」
基調講演 神谷 浩平 (My Wells 地域ケア工房)
「『基本的(一般的)緩和ケア』の促進を考えよう
～多様な価値観・現場における協働型コンサルテーションの試み～」
座長・シンポジスト 小田 浩之 (東京都立大学)
部川 玲子 (北見赤十字病院 がん看護専門看護師)
※ 14:20 の時点でアナウンスを入れますが、延長する可能性があります
- 15:10～16:00 教育講演「意思決定支援ってどういうこと？」
演者 小川 朝生 (国立がんセンター東病院 精神腫瘍科)
座長 上村 恵一 (斗南病院 精神科)
- 16:10～17:00 共催セミナー(スイーツセミナー) 共催：塩野義製薬株式会社
「いんでないかい？ 緩和ケア ～基本を振り返ろう～」
演者 三浦 剛史 (セコメディック病院 緩和ケア科)
座長 中西 一彰 (市立函館病院 消化器外科・緩和ケア科)
- 17:00～17:20 閉会式
優秀ポスター賞 表彰式
閉会のご挨拶 山崎 裕 大会長 (市立函館病院 緩和ケア科)
次回大会のご案内 上村 恵一 (斗南病院 精神科)

第 2 会場 (武道館) *企業展示、休憩スペースもございます

- 9:30～11:00 ポスター貼り付け
- 11:00～14:30 ポスター閲覧
- 14:30～15:00 ポスターセッション ※ 主発表者は自ポスター前での待機をお願い致します
- 15:00～16:00 ポスター閲覧
- 16:00～17:30 ポスター撤去 ※ 残ったポスターは事務局で撤去させていただきます